



昨年12月、簡易堆肥化容器のテストで、容器に落ち葉を詰めたのが、約10ヶ月でかなりいい腐葉土になりました。
放射性物質濃度を測定してみたところ、179ベクレル。この腐葉土の利用をめくっても、人によって見解が分かれるところです。
ささやかな循環の仕組みづくりにも、とても気を使うようになってしまいました。何とも腹立たしく悩ましい晩秋です。
今年の落ち葉、皆さんのところでは、どうされていますか？

会員拡大キャンペーンにご協力を！

3・11から2年。来年2月の市民ごみ大学セミナーは、改めて『原発NO!』の想いを込めて福島と連帯し、地域での活動をいっそう広げていこうと、セミナーに替えて次のような集会を開催することになりました。
「牛の殺処分を受け入れることはできない」と、福島県根浪江町で400頭の牛の命を守り続ける「希望の牧場」代表の吉沢正巳さんをお呼びします。いまからぜひ、ご予約ください。
また、チラシ配布などでご協力いただける方はご連絡ください。

3.11から2年 福島と多摩をつないで
第1部

吉沢正巳さんのお話

それでも、牛と生きる

～警戒区域で被曝した400頭の牛を飼いつづける理由～



福島第一原発から14kmのEM牧場浪江農場。その日、吉沢さんは福島第一原発の爆発音を聞き、白く上がる噴煙を見ました。「浪江農場は、もうおしまいだ」

3月17日、単身上京し、東京電力本店に抗議に乗り込みます。そして「殺処分」という国の命令に抗い、残りの人生をかけ、過酷な状況の中で、原発事故の生き証人である被曝した牛たちの世話を続けています。貴重な現地のスライドを見ながら、吉沢さんのお話を聞きます。



第2部

2013年
2月16日(土)
2時～4時半

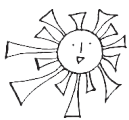
武蔵野芸能劇場(JR武蔵野駅南)

「つながろう・広げよう！」活動報告&交流

- * こどもみらい測定所 石丸偉丈さん
- * 福島原発告訴団・関東 白崎あさ子さん
- 西園寺美希子さん
- * つながろう！
放射能から避難したママネット@東京
増子理香さん
- * 映画「福島 六ヶ所 未来への伝言」ダイジェスト版

参加費：500円

年会費＝個人会員 3,000円 団体会員 6,000円
賛助会員 10,000円(一口) 記事を転載する場合はご連絡ください



NPO法人
ごみ・環境ビジョン21

〒185-0012 東京都国分寺市本町 2-19-9-7
TEL&FAX 042-328-6621 月・金(除く祝日)13～17時
Eメール gomikan@mtf.biglobe.ne.jp
http://www2u.biglobe.ne.jp/~GOMIKAN/

郵便振替 口座名：ごみ・環境ビジョン21 口座番号：00120-1-541089

◆振替用紙にはご住所・お名前・お電話番号(FAX)を必ずご記入ください
また、変更があった場合はお知らせください

*いの*の編集後記

農業、酪農、漁業、林業…これらを生業にしてきた方たち…自然と命を誰よりも大事にしてきた方たちにとって、福島の大地と海は、なんと豊かな「場所」だったのでしょうか。

そんなすばらしい場所で原発のレベル7の事故が起こった…あれは悪い夢だったのではないかと思うことがあります。でも現実です。目をそらしてはいけぬ現在進行形の事件です。

この現実を忘れないために、人は逃げ、家畜は殺処分となった警戒区域で奮闘する吉沢さんのお話を、一人でも多くの方に聞いてほしいのです。誘い合ってご来場ください。

チラシは1月下旬発行のごみつとに同封しますが、12月早々にできあがりますので「配りますよ」という方は、ごみかんへご連絡ください。PDFあるいはプリントで、お渡します。

活動仲間や新しく議員になられた方に、ごみかんへの入会をお勧めいただいただけませんか？
会員になっていただいた場合、ご紹介者にご希望の講演録を2冊プレゼントしています。